

令和5年6月 足立区長定例記者会見

— 第2回 足立区議会定例会前 —

2023 6 13

1

首都直下地震等対策の進捗

耐震診断・耐震助成の申請が好調

3年間で区内住宅の耐震性を、さらに高める

令和4年
5月

都公表「3種別で被害想定23区最多」

被災種別	平成24年公表 (東京湾北部地震)	令和4年公表 (都心南部直下地震)
全壊棟数	10,082棟	11,952棟 (区内の約8%)
死者数	712人	795人
負傷者数	9,033人	8,507人

東京都公表
「首都直下地震
等の被害想定」
見直し

令和5年
4月

耐震等助成額を期間限定で拡大(3年間)

	令和4年度	令和5~7年度
耐震診断	10万円	30万円
耐震改修	特定地域	200万円
	一般地域	150万円
木造解体	特定地域	200万円
	一般地域	150万円
分譲マンション解体	100万円	2,000万円
家具転倒防止等工事 (ガラス窓飛散防止フィルム貼含む)	5万円	10万円
ブロック塀等のカット	1万円/m	2万円/m

令和4年
10月

すぐできる対応から実施

既存制度の対象者を拡大

家具転倒防止器具や窓ガラス飛散防止フィルム等の取り付け助成対象

60歳以上の方を含む世帯未就学児
を含む世帯 など



要件を撤廃し
全世帯に拡大

耐震改修工事助成の対象世帯追加

4m未満の道路(42条2項道路)に
突出した部分を除去しなければ助成
対象とならない



突出部分の除去や建て
替えが困難な65歳以上
のみの世帯を対象へ

区指定
特定地域 梅田/千住/扇一・三丁目/宮城一丁目/小台/中川二・三丁目 など

Point!

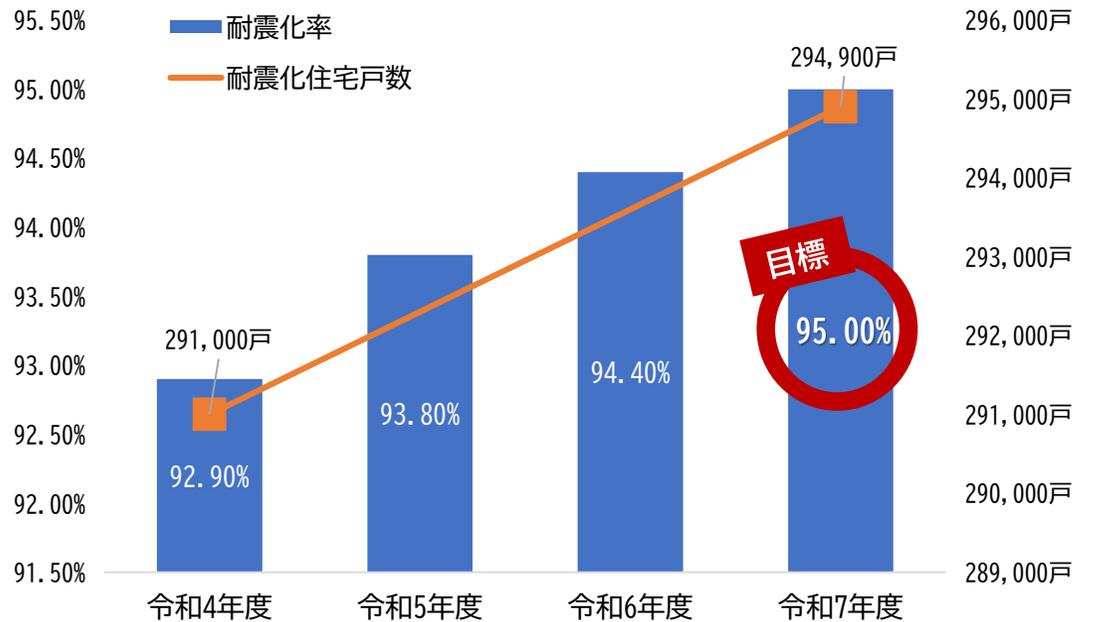
- 助成率UP
- 助成額UP
- 3年間限定

3年間で集中的に耐震化を推進

申請好調！ 助成制度の状況（令和5年度当初）

令和5年度～7年度「住宅の耐震化率」の目標

3年間で 耐震化率を約 **2** ポイント引き上げ



※ 数値は、平成30年住宅・土地統計調査に基づく推計による

今後の取り組み(想定)

- 広報紙による継続した周知
- 直接ご自宅へのポスティング
- 町会・自治会の掲示板に

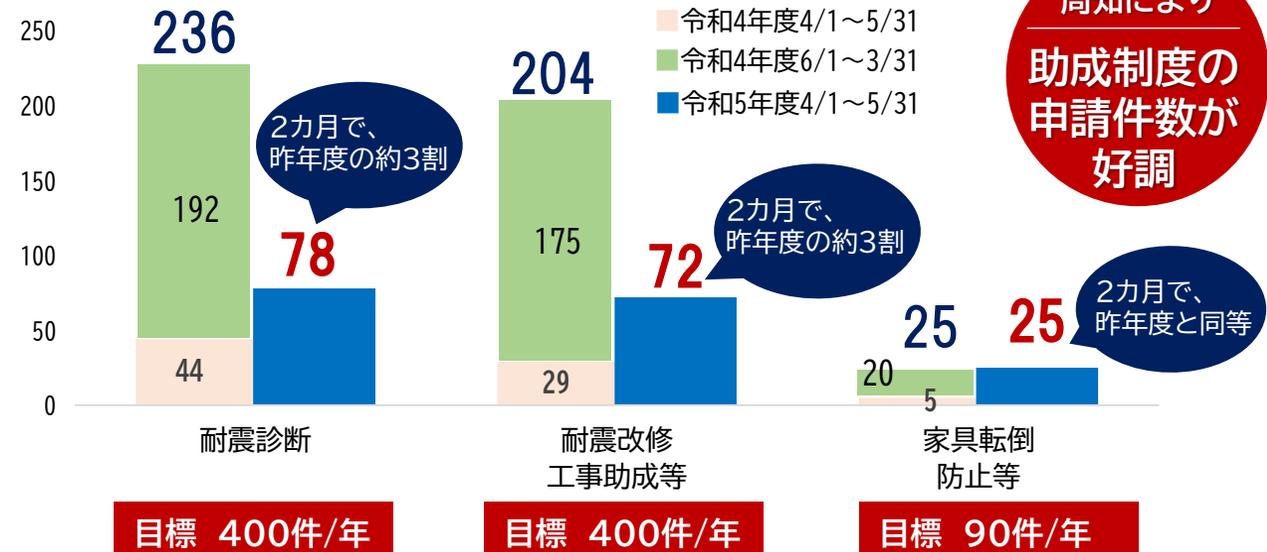
この勢いで
目標達成へ

UP

スタートダッシュ

耐震等助成制度活用が好調

耐震等助成制度の同時期(6/1)の申請件数比較



周知により

助成制度の
申請件数が
好調

目標 400件/年

目標 400件/年

目標 90件/年

POINT
1

建築事業者の協力

東京都建築士事務所協会足立支部
東京土建一般労働組合足立支部

建替やリフォームの際に、耐震助成制度の分かりやすいアドバイス

4

POINT
2

広報紙による周知

これまで以上の掲載頻度
掲載の度に、問い合わせ増

“いくらぐらいかかるの？”
“期間はどのくらい？” など
建築士が監修し5/25号に掲載

2

家計急変世帯（想定750世帯）に対する 臨時給付金

区独自の取り組み

あだち物価高騰支援臨時給付金

第4号補正
予算に計上

国の交付想定は“令和5年度”の住民税非課税世帯。
その決定を待っている場合は、支給時期が遅くなる。

令和5年4月21日臨時会
第3号補正予算議決

そのため足立区は、
“令和4年度”住民税非課税世帯を対象※として
時期を早めて支給！ ※23区では足立区のほか2区のみ実施



収入が予期せず減少し、
住民税非課税世帯水準となった
家計急変世帯にも対象を拡大！

1世帯あたり
3万円

24,074千円

足立区独自
国の想定より前倒し

国の想定より
約3週間早く
支給

国の想定

“令和4年度”
住民税非課税世帯
6/28 から順次支給
【6/8 通知開始】
令和4年度住民税均等割が非課税の世帯
【令和5年度も住民税非課税世帯の場合は国庫対象】

対象想定 97,000世帯

“令和5年度”
住民税非課税世帯
7/中旬 から順次支給
令和5年度住民税均等割が非課税で、かつ左記の給付金の対象ではない世帯

対象想定 15,000世帯



家計急変世帯

足立区独自

7/下旬 から申請受付
8/月上旬 から順次支給
令和5年1月から10月のいずれか1か月の
収入が減少し、その額を12倍(年額換算)した額が、住民
税非課税水準と認められる世帯

対象想定 750世帯

3

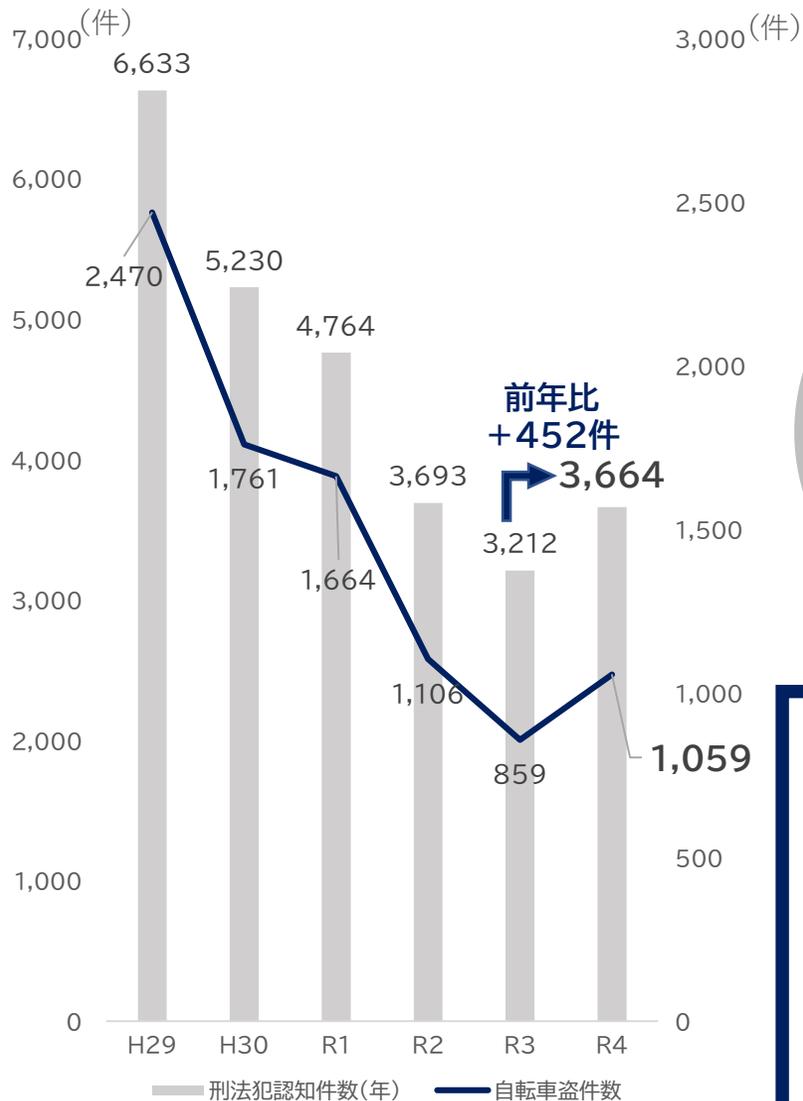
【緊急】 自転車盗対策/広域強盗対策

増加する刑法犯認知件数に歯止め

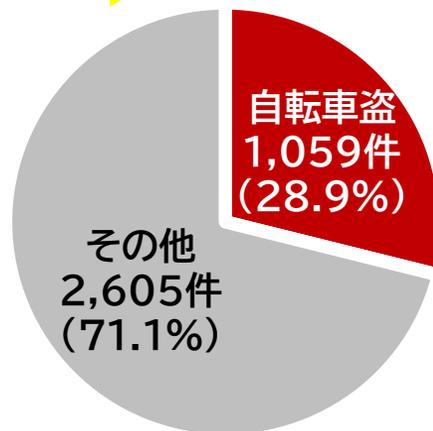
刑法犯認知件数増の現状を打破！ 自転車盗対策を強化

第4号補正
予算に計上

令和4年の刑法犯認知件数が **5年ぶりに** 増加



約3割を占める
自転車盗対策が急務



令和5年も増加傾向

令和5年3月2日
区内4警察署との
緊急会議を開催

新たな対策を協議

緊急対策①

44か所、100台を導入予定

NEW

集合住宅への防犯カメラの設置を推進

自転車盗が多発している集合住宅に
設置し、個別的な重点警戒を実施

39,637千円

- 公営住宅及び民間集合住宅へ設置
- 2年間(R5.8~R7.7)の無償貸与

犯罪行為の抑止
証拠映像の確保

緊急対策②

「見せる防犯」を強化

NEW

8/1~12/31に“駐輪場重点警戒パトロール”

無施錠者への声掛け、無施錠自転車への
「警告札」の取付け等を実施

99,692千円

- 刑法犯認知件数の減少から、青パトに一本化(R4年度~)
- 自転車盗の増加を受け、スキームを変更して復活

- 毎日(土日祝日含む)7時~23時まで、警察OBから指導を受けたパトロール隊員等で実施
- 各駅2人×1組 区内主要4駅(北千住・綾瀬・西新井・竹ノ塚駅)
- 2人×2組 区内大型商業施設を集中警備

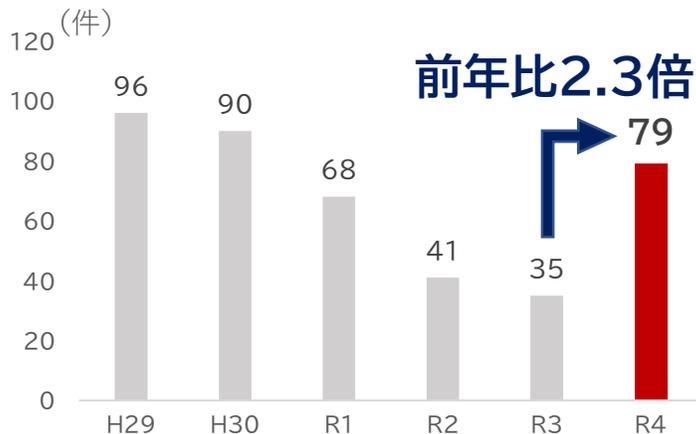
パトロールは
計12人
で対応

予約好調！侵入防止グッズの無料配布

第4号補正
予算に計上

令和4年の空き巣件数も

5年ぶりに増加



《区民からの声》

- 連日、広域強盗事件が報道されていて不安だ
- 強盗対策のアドバイスがほしい
- 防犯グッズ購入に対して補助金はないか
- 防犯グッズの貸出などはないか

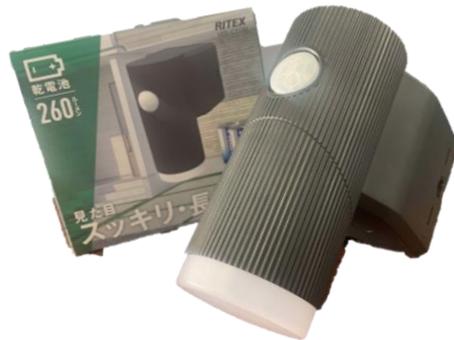
要件撤廃

4月7日から
全世帯に
対象を拡大

侵入盗に対する区民の不安を払拭

今回

追加購入のため補正



【① センサーライト @1,500円】

- 人などに反応して点灯
- 電源不要(配布時に必要数の電池も無料配布)
- 明るさは2段階(260ルーメン、130ルーメン)



【② 防犯フィルム @1,950円】

- ガラス破りなどの飛散を防止
- 衝撃に強いポリカーボネート
- 鍵の位置にフィルムを貼付
- 大型サイズの2枚入り

全国的に品薄状態が続き、
区の在庫も品薄に

※ 実際の配布と異なる
場合があります

	H31.1.23～ R5.4.6 までの実績	R5.4.7～ 5.31の実績	現在の 対応
センサー ライト	438 (12.1件/月)	589 (294.5件/月)	配布を 一時中 止し、予 約のみ 受付中
防犯 フィルム	650 (27.0件/月)	589 (294.5件/月)	

※ 区の防犯診断や
警察の助言が必要

5,000世帯分 を確保

10月末から11月(納品予定)

23,336千円

侵入盗被害防止のため、制度周知を推進

- 電話・オンライン申請等にて随時予約受付中
- 今後、設置状況について確認を実施する

4

自転車用ヘルメット購入費補助 プラス4万個

令和5年度から3年間、限定実施

こちらも好調！ 自転車用ヘルメット購入費用補助

第4号補正
予算に計上

令和5年3月10日からスタート
開始直後から、想定以上の反響と申込み

提案 令和4年5月、近藤区長を表敬訪問していただいた際



近藤区長、
ヘルメットの無償配布・
補助金交付など
足立区でできませんか

その場で即答
やりましょう
By 区長

警視庁交通部 石川 誠 参事官
(元 綾瀬警察署長)

背景 自転車利用者の死亡事故、
原因の7割は、頭部への損傷

4月1日の改正道路交通法施行
ヘルメット着用が努力義務に + 区内で自転車に関与した事故
都内最多の980件

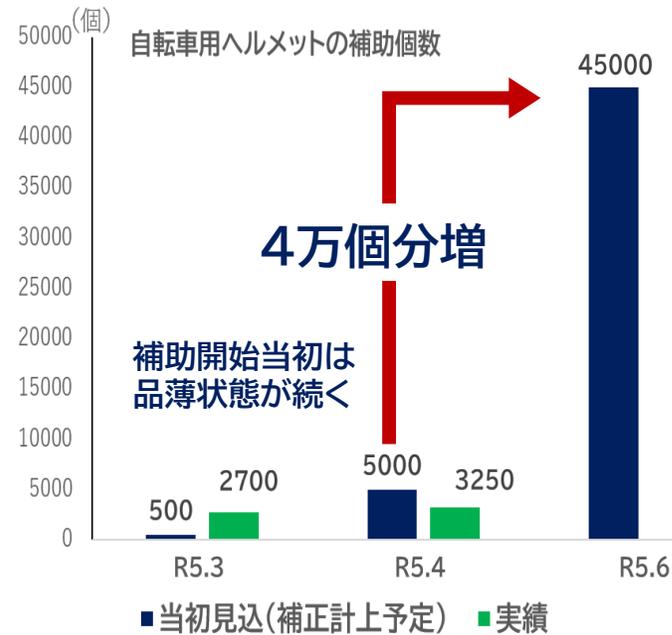
- 取組**
- 3年間限定(令和8年3月31日まで)
 - 2,000円引きの補助を実施

23区中5区で補助制度を実施(6/6現在)

Point 好評のため、4万個分補正計上

3月、4月の購入ペースが続いた場合、
年間約4万5千個の需要が見込まれる

80,300千円



23区最多(※)
64店舗
で取り扱い

目標は
80店舗
程度を想定
(区内約100店舗)

※ 23区の類似補助事業実施自治体との比較(6/6現在)

着用率の向上と購入しやすい環境整備を推進

- 協力店舗拡大に向け、各店舗にさらなる声掛け
- “努力義務化”と“補助制度”を継続して周知

5

若年者支援元年 対策いよいよ本格始動

高校生応援支援金/足立ミライゼミ/給付型奨学金

「夢」をあきらめさせない！

スキーム決定

7/3
受付開始

高校生応援支援金

当初予算
2千万円

※当初予算2千万円は、おおよそ「高校生応援支援金」経費ですが、関連事業も含まれます。

	内 容
支給額	年額50,000円
対象人数	300名程度
対象者	①区内在住の高校生 ②課税世帯のうち世帯年収250万～350万円程度 ※世帯の人数や収入によって異なります
対象経費	部活動・クラブ活動(用具費、遠征費、月謝など)・資格取得・検定試験の受験などに係る経費に！
申込書類	申請書および学校に在籍確認ができる証明書
申込方法	オンライン申請または郵送

締め切り 7月31日(月) 必着

人数確定へ

高校生版
足立はばたき塾

足立ミライゼミ

当初予算
1.5千万円

	内 容	
支援内容	難関大学合格を目指す無料学習塾	
対象者	家庭の事情などにより塾に通えない高校1年生 (世帯収入の基準あり)	
応募状況 (応募終了)	定員	応募数
	25名	64名
入 塾	6月13日の学力診断テストおよび所得審査などにより7月初旬頃に入塾者を決定	
授業日時	毎週火曜日 18:30～20:40(R6.3/26までの全36回)	
場 所	こども支援センターげんき(足立区梅島3-28-8)	

7月11日(火) 開校予定

「夢」を実現させる！

返済
不要

合格者決定へ

給付型奨学金

当初予算
9.4千万円

■ I・II期申し込み数

		I期	II期	計
国公立	文系	0	0	0
	理系	1	3	4
	医学部	0	1	1
	歯学部	0	0	0
私立	文系	103	63	166
	理系	65	40	105
	医学部	4	1	5
	歯学部	1	0	1
専門学校	11	12	23	
その他	6	0	6	
合計数	191	120	311	

■ I期の合格者内訳

		合格者数
私立	文系	15
	理系	3
	医学部	0
	歯学部	0
国公立	0	
専門学校	1	
合計数	19名	

I期の前期分給付額
約1,300万円

■ II期の合格者内訳

6/14(水)の審査会により21名が決定予定

もっと利用しやすい制度へ

主な課題

短期課題	定員枠	高校生と大学生では作文等のレベルに差があるため、それぞれに枠を設ける必要がある
	給付上限額	医学部・歯学部以外の学部は理系分野でも給付上限額が文系と同額。薬学部など実態に合わせ柔軟な対応が必要。
中長期課題	入学前の評定平均	4.0以上の評定平均を取る難易度が各学校で異なる *ハイレベルな高校では評定平均が取れないため応募できない *高校進学時に行きたい学校を諦め、入学レベルを下げることで想定される
	入学後の評定要件 (現行4.0以上)	学校により、入学後に4.0以上の評定を取り続けることが困難なケースがある(奨学金が打ち切られれば退学も想定される)
	収入基準	同じ収入の場合、多子世帯では経済的負担が異なる

来年度の給付型奨学金の募集はI期のみで
令和5年7月下旬頃から9月までを予定

6

区立小中学校の校庭において 金属探知および“釘”除去作業を実施

他自治体の事故を受け徹底調査

緊急点検：目視等による“釘”除去作業結果

第4号補正
予算に計上

令和5年5月11日

他自治体の小学校の
校庭に埋もれていた“釘”により、児童が負傷

これを受け、教育委員会から
即日、全小中学校に通知

緊急点検
5/11・START

5月23日までに
緊急一斉点検を実施するよう指示

全102校(小学校67校、中学校35校)で、
教職員が校庭に横一列に並び前進しながら
目視等にて校庭の状況を確認した。

※各学校の施設内容等により、確認方法は若干異なる。

緊急点検の結果

※5月25日付け、報道機関に
情報提供済み

小学校1校で 5本の釘
中学校1校で18本の釘 が見つかる

用途は不明であるが、
形状や劣化状況から、
かなり前のものと推測。
【すべて除去済み】



小学校で見つかった釘 ▶

今後

緊急一斉点検では、
地中の釘までは見つけられないため、
金属探知を実施する。

さらなる安全のため 金属探知機による確認

第4号補正
予算に計上

金属探知機
(イメージ)



対象校数

63 校

各小中学校

2 機ずつ
購入

金属探知と
除去作業は
委託

対象は、校庭が“土”の学校

【内訳】

小学校 30校(全67校)

中学校 33校(全35校) 小中あわせて102校

※人工芝等の学校は、対象としない。

感度変更により、深さ調整可能

【積算】

@38,500円×2機×63校

①4,851千円

各校の“用務業務委託”に追加委託

【積算】

@346,500円×62校

2人×5日間と想定

委託していない1校を除く62校

②21,483千円

①②合計

26,334千円

今回の
一斉調査の後は、
金属探知機を用いて
随時点検を行う



- さらに、区立保育所・認定こども園(45園)でも金属探知機を購入して確認
- 周辺の私立の幼稚園や保育所にも貸し出して、順次確認していく

7

ごみ集積所のカラス対策

新たな挑戦！！

カラス被害減少に向けて

防鳥ネット

鳥コン(H30~)

今までは...

掛け方が悪いと荒らされる！
スペースや管理が必要！

これから

カラス対策に長期的な効果を実現するノウハウを持つ

株式会社CrowLab(クロウラボ)と協力

宇都宮大学のカラス研究者が代表や顧問を務める、カラス被害対策の製品開発やコンサルティングを行う法人。



提案1

カラスをコントロール！

カラス被害が特に顕著な集積所など5カ所に、音声機器クrowコントローラー(※)を設置して試験運用。

クロウラボのオリジナル



※カラスが警戒時に発する鳴き声を再生、別の場所へと移動を促す機器。

令和5年9月末まで

クrowコントローラーの効果を検証

提案2

ごみの出し方を変える！

区内のごみ集積所を実態調査し、カラス対策に有効なごみ出し方法を提案、ナッジ(※)に基づく周知・広報を助言

※自発的な行動変容を後押しする行動科学上の手法



▲▼6/2 実態調査を開始

区内のカラスの生態を確認

実施時期は検討

全区展開し検証



「カラスの誘導」「ごみ出しの改善」の両面から対策

8

第45回「足立の花火」

都内で“一番早い大規模花火大会”、4年ぶり開催！

9

「ちょいまし野菜」と「おいしい足立区フェア」

6月は食育月間

あだちは いつでも どこでも「ちょいまし野菜」

6月の食育月間は、**区内全域で**

野菜を食べて健康になる**取り組みを推進!**

野菜を食べやすくする取り組みをしているお店

主な取り組み
1

区内ベジタライフ協力店
827店舗と盛り上げます!

のぼり旗や卓上ポップなどで啓発。一部店舗では、野菜メニューを食べた方や野菜を購入した方に抽選で豪華プレゼントが当たる!

※詳しくは、区HPかパンフレットで



主な取り組み
2

味の素(株)・キユーピー(株)
とコラボでレシピ開発

大手食品メーカーが区栄養士とコラボしてレシピを考案しHPで公開!



主な取り組み
3

カリスマ八百屋が伝授!**野菜の教室**

青果店主が講師となり「おいしい野菜の選び方教室」を開催(YouTube同時配信)



平成25年度から開始した足立区独自の健康施策「あだちベジタライフ」。この取り組みで、平成22年と比べ令和2年の健康寿命は男性2.04歳、女性は1.96歳延伸させることに成功しました。



あだちは いつでも どこでも

ちょいまし
野菜 **増**

6月は
食育月間

セブン-イレブンとコラボ再び 「おいしい足立区フェア」

平成29年1月

23区初！
区とセブン&アイ
グループ3社(※)
が「包括連携協定」
を締結



※セブン-イレブン・ジャパン、
イトーヨーカ堂、
セブン&アイ・フードシステムズ

令和4年6月

区制90周年記念
事業において、セ
ブン-イレブンと
区が給食メニュー
2品でコラボ！



令和5年6月

昨年に
引き続き
今年もコラボ
します

ぜひご賞味を！

足立の給食がセブン-イレブンで！

新メニュー



給食の味 カレーシチューごはん



再販
えびクリームライス



再販
こまつなサラダ

23年6月19日揭示終了

おいしい給食 えびクリームライス

野菜 こまつなサラダ

セブン-イレブン 50 YEARS

おいしい 足立区 フェア

ちよいまし 野菜！

足立区で人気の給食や 野菜のメニューをそろえました

おいしい給食 給食の味 カレーシチューごはん

足立区の食育月間を応援しています!!

この販促物が目印です。

期間：6/13(火)～6/19(月)

※店舗によって取扱いのない場合がございます。
※6月13日(火)に一部商品が揃わない場合がございます。
※商品名は変更になる場合がございます。
※写真はイメージです。



ADACHI CITY